

**東アジアにおけるキリスト教シオニズムの
歴史的展開および活動内容について
—1990年代以降を中心に—**

石井田 恵
同志社大学大学院神学研究科博士後期課程

要旨

近年、アメリカにおけるキリスト教シオニストの影響力に注目が集まっている。しかし、キリスト教シオニズムは1990年代以降、東アジアでも影響力を拡大しつつある。このうち、一部の国や地域における特定の団体についての研究は存在するが、それらを体系的に扱った研究はない。そのため、一部の団体に特徴的な—いわば個別的事例を、キリスト教シオニズムに普遍的な事柄と見なし、この運動の実像を見誤る結果を招来しかねない。

そこで、本稿では韓国、中文圏、日本におけるキリスト教シオニズムの歴史的展開を辿り、様々な団体による宣教活動、政治活動について概観する。そして、それぞれの組織に共通する特徴が見られる一方で、宣教活動や政治に対する積極性に関しては、差が認められること—多様性が見られることを、指摘する。また、その違いは各国のキリスト教シオニストが置かれている社会的状況や文化的違いを反映している可能性を示唆する。

キーワード

キリスト教シオニズム、東アジアのキリスト教、ファンダメンタリズム、ユダヤ人宣教、親イスラエル

Developments and Activities of the Christian Zionists in Eastern Asia: Focusing on Post-1990s Period

Megumi Ishida
Doctoral Student
Graduate School of Theology, Doshisha University

Abstract:

The influence of Christian Zionism in America has been extensively studied in recent years. After the 1990s, its impact had reached Eastern Asia. Although there have been a few systematic studies on Christian Zionism in this region, these research works have mostly focused on particular organizations in a specific country or region. Thus, the reported characteristics of these groups might be misunderstood as universal attributes of Christian Zionism in this part of Asia.

Therefore, in this article, the historical developments of Christian Zionism in Korea, Chinese-speaking countries, and Japan are overviewed country by country, focusing on the political activities and missionary works of major organizations. A comparison of such developments in these countries reveals their common features and structures. However, the extent and nature of missionary and political activities are very different and diverse among the region's countries. These differences are likely caused by their political and social situations as well as their national cultures.

Keywords:

Christian Zionism, Christianity in Eastern Asia, Fundamentalism, Jewish Evangelism, Pro-Israel

1. はじめに

キリスト教シオニストはシオニズムを支持するが、基本的に彼ら自身はユダヤ人ではない。アメリカにおけるキリスト教シオニストは、とりわけ 9.11 以降に存在感を増してきている¹。キリスト教シオニスト団体の活動内容は、政治的活動と宣教活動に大別されるが、David Brickner によれば、それらは、1967 年以前は二つの異なる活動ではなかった²。そのため、本稿でも、キリスト教シオニスト団体の活動内容について宣教、政治の両面から論ずる。

1990 年代以降、キリスト教シオニズムは東アジアでも影響力を拡大しつつある。東アジアの一部の国や地域における特定のキリスト教シオニスト団体、組織についての研究は少数ながら存在する。ただ、それらは、あたかも特定の団体がキリスト教シオニズム全体を代表するかのような——個別的事例を一般化して論じるきらいがあった。一部の過激な団体を取り上げ、特定のレッテルを貼る行為は、比較的穏健なグループを萎縮させ、過激な集団を勢いづかせることにもつながりかねない³。本稿では、それぞれの国や地域において様々な団体が存在し、それらが共通する特徴を持ちながらも、多様性を持つことを指摘する。それによって、キリスト教シオニストらのアイデンティティを矮小化することなく、彼らの活動の原動力となっているもの、また、彼らの存在や行動を通して映し出される現代社会の問題点に向き合うための礎を築きたい。

そこで、本稿では (1) 韓国、中文圏、日本におけるキリスト教シオニズムの歴史的展開を地域別にまとめ、(2) 各地域のキリスト教シオニストらによる宣教活動、政治への関与の状況について紹介する。そして、最後に、各地域における運動の展開、活動内容を比較し、共通点および相違点を明らかにする。加えて、その相違点が各国のキリスト教シオニストが置かれている社会的状況や、文化的違いを反映している可能性を指摘したい。とはいえ、東アジアにおける運動が米国のそれから少なくない影響を受けているため、まず、アメリカのキリスト教シオニズムについて瞥見する。

2. アメリカのキリスト教シオニズム

2-1. 歴史的展開

1948 年のイスラエル建国当時からキリスト教シオニストらは、それが聖書中の預言の成就であると考えていた⁴。しかし、第二次世界大戦後、イスラエルのパートナーとなったのは、主流派プロテスタント教会であった⁵。ただ、1967 年の第三次中東戦争でのイスラエルの勝利によって、主流派プロテスタント教会はシオニズムを被抑圧者による運動とはみなさなくなり、イスラエル支持にも否定的に

なった。代わって、イスラエルの支持者となっていたのがキリスト教右派であった⁶。彼らは、イスラエルは世界の救いという神の計画において重要であり、アメリカの利益を守るためにも必要なパートナーであると考えようになる⁷。政治的運動に集中するキリスト教シオニスト団体が登場してきたのはこの時期であった⁸。数十のキリスト教シオニスト団体が、1970年代から2000年代にかけて設立されている⁹。

2-2. 対ユダヤ人宣教活動

1967年はユダヤ人宣教にとって、ひとつの転換点となった。その理由として、第一に、この時を境にイスラエルへの宣教的、政治的活動が分離されていったことが挙げられる¹⁰。ただ、Yaakov S. Arielによれば、それは必ずしも政治的キリスト教シオニスト団体の関係者が宣教的関心を消失したことを意味しない¹¹。しかし、二つの活動が分離されていったことはユダヤ人宣教に影響を与えたと考えられる。

第二に、ユダヤ人宣教の担い手の変化が挙げられる。第二次世界大戦後、主流派プロテスタント教会の間でエキュメニカル運動が拡大し、その中の一部の教派は宣教活動を継続したものの、多くはユダヤ人宣教に消極的姿勢をとった¹²。1967年以降、イスラエルのパートナーとなったキリスト教右派がエキュメニカル運動と距離を置いていたことは、積極的なユダヤ人伝道が展開されていく一つの契機となったであろう。

第三に、メシアニック・ジュー運動の隆盛がある¹³。1970年代から、英語圏を中心にユダヤ人キリスト教信者が増加した。そのような中で、自らのユダヤ人としてのアイデンティティを強調するために「メシアニック・ジュー」という用語を用いるユダヤ人信徒が登場した¹⁴。キリスト教シオニズムが非ユダヤ人キリスト教徒による運動であるとするれば、メシアニック・ジューダイズムはイエスを信じるユダヤ人による運動である。二つの運動には、思想的差異や、活動内容の差が認められるが、親シオニズムという点は共通している。ユダヤ人の中からイエスを信じる運動が興ったことは、キリスト教シオニストらによる宣教活動を後押しすることになったに相違ない。

2-3. 政治への関与

1960年代以降、キリスト教右派は主流派プロテスタント教会やカトリック教会に代わり勢力を拡大していった¹⁵。リチャード・ニクソンが大統領在任中（在任期間：1969-1974）に、イスラエルへの軍事のおよび財政的援助は大幅に増加し、両国の関係は強化された¹⁶。また、この時期、キリスト教シオニストらは組織的

に、アメリカ政府に対してイスラエル支援を働きかけるようになった¹⁷。ジミー・カーターが大統領に就任し（在任期間：1977-1981）、カーターの仲介によりキャンプ・デービッド合意が成立し、1979年にはエジプト・イスラエル平和条約が締結されたが、カーターはイスラエルをアラブ諸国以上に支持しなかった¹⁸。Bricknerによれば、この頃、人道支援活動を中心に行う北米初の代表的な政治的キリスト教シオニスト団体、Bridges for Peace (BFP)と International Christian Embassy Jerusalem (ICEJ)が設立されている¹⁹。

ロナルド・レーガンは、キリスト教シオニストから支持を得て、1981年に大統領に就任した（在任期間：1981-1989）²⁰。キリスト教シオニスト的見解が反映されたレーガンの中東政策は、レーガンと親イスラエル・ロビーの関係を強めた²¹。レーガン在任中の1983年には International Fellowship of Christian and Jews (IFCJ)が設立され²²、1985年には祈りや人道的プロジェクトを通してイスラエルに祝福をもたらそうとする団体 Christian Friends of Israel (CFI)が設立されている²³。

その後、ジョージ・H・W・ブッシュ政権とクリントン政権においても、キリスト教シオニストは政治家と強い関係を維持したが、9.11を機に、影響力をさらに強め、これが注目を集めることとなった²⁴。

3. 韓国のキリスト教シオニズム

3-1. 歴史的展開

太平洋戦争以前から、韓国のキリスト教には「ユダヤ人の回復」に終末論的意味を付与するディスペンセーション主義の影響が強く見られた²⁵。しかし、韓国のクリスチャンの間でイスラエルへの関心が高まり、運動が活発化してきたのは2010年以降である。ただ、初期のキリスト教シオニストによる活動は1990年代初頭に始まっていた。

Han-sa-lang Seon-gyo-hoe（ハンサラン宣教会）はメシアニック・ジューを最も早く韓国に紹介した団体であると考えられる。同団体は1971年に Han-sik Gim (Kim)によって設立された。1990年3月に Han-sa-lang Messianic Sin-hag-won（ハンサラン・メシアニック神学院）を開校し、同年9月にはアメリカのメシアニック・ジューである Michael Brown を招聘している。また、1991年3月～1993年10月にかけて韓国・ユダヤ人連合聖会を開催し、イスラエルのメシアニック・ジュー団体、ティクーンと協力関係を結んでいる²⁶。

Onnuri Community Church（オンヌリ教会）の Yong-jo Ha は1992年に教会内にイスラエル宣教部を設置し²⁷、Jong-bae Gim (Kim)を初代部長に任命した²⁸。この組織は1994年に Korea Israel Bible Institute (KIBI)の名称を使用するようになり、

95年にKIBIの事務室を開設している。KIBIは、ユダヤ人のイスラエル帰還の支援活動、ユダヤ人宣教を目標とした文化公演、韓国国内での祈り会や、Israel Bible Study 講座を行い、長年、韓国においてイスラエルについての情報発信、教育活動を実施してきた²⁹。ただ、2019年にKIBI内部で問題が発生し、現在KIBIはOnnuri Community Churchから独立し、Onnuri Community Church内に新たなイスラエル宣教チーム、Shalom Israelが設立されている³⁰。

InterCPは1983年に設立された宣教団体で、中国からイスラエルに至るまでの地に福音を伝えるビジョンを持ち、活動している³¹。Sung-Gun KimやPil-chan I (Lee), I-cheol Jeongは、同団体を他のキリスト教シオニスト団体と同列に扱っている³²。InterCPの代表、Paul Choeはイスラエルの回復に終末論的意味を付与し、InterCPも上の二つのキリスト教シオニスト団体と同様に、聖霊派的性格を持つ³³。しかしながら、InterCPはイスラム圏、およびイスラエルのパレスチナ人に対する宣教活動に大きな関心を持つ点で、それらの団体とは性格を異にしている³⁴。これは、Paul Choeが元イスラム圏の宣教師であったことに関係しているのであろうか。

2000年に入ってから、Derek Prince 宣教会の韓国支部や、Korean Israel Mission (KIM)が設立された³⁵。そして、2009年にJong-cheol Gim (Kim)監督によるイスラエルのメシアニック・ジューを主題とするドキュメンタリー映画『回復』が一般の映画館で公開され、クリスチャンの間でのイスラエルやメシアニック・ジューに対する関心を高めた。同年以降、韓国のキリスト教シオニズム運動が活発化し、その担い手や活動内容も多様化してきている。

まず、2010年にキリスト教シオニズム団体のネットワーク Israel Ministries Network (IMN)が7つの団体を中心に組織された。同団体はイスラエルでの宣教活動に加え、イスラエルに関する神学セミナーも開講している³⁶。また、同年、Chung-ryeol Gim (Kim)がYong-se-gyo-hoe (ヨンセ教会)にイスラエル宣教会を設置した³⁷。2012年には、旧約学者のWalter Kaiser Jr.やメシアニック・ジューのDaniel Justerを招いてToward Jerusalem Council II (TJCII)のアジア大会が開催されたが、同教会が会場として使用されている。また、同年にKingdom Army MinistryがDavid Chaによって設立された³⁸。2013年にJoyce Jeongによってアメリカで設立されたLOVE153はイスラエルで人道支援活動を展開している³⁹。

イスラエル情勢を専門に発信するメディア——Jong-cheol Gim (Kim)が代表を務めるBrad TV⁴⁰、イスラエルの現地メディアとして設立されたKing's Room Media⁴¹、韓国のキリスト教放送局CTSのラジオ放送局のイスラエル支局JOY Jerusalem⁴²——も2010年以降、登場してきている。

さらに、2014年から白石大学校ソウルキャンパス前副総長Jin-seop Gim (Kim)、

University of the Holy Land の副総長 Yeon-ho Jeong、ソウル神学大学の前副総長 Hyeok-seung Gwon (Kwon)によって、イスラエルを中心に聖書を再解釈する「イスラエル神学」構築の試みもなされている⁴³。

加えて、Chosen People Ministries (CPM)、IFCJ⁴⁴、CWI、The Lausanne Consultation on Jewish Evangelism (LCJE)や Revive Israel、BFP といった国際的なキリスト教シオニスト団体やメシアニック・ジュー関連団体の韓国支部も設立されている⁴⁵。

韓国のキリスト教シオニズムは、聖霊派的性格を持つ団体を中心に展開されてきた。とはいえ、近年は Chung-ryeol Gim (Kim)や、「イスラエル神学フォーラム」に関係する保守系神学校の教授など、福音派に属する者もあり、活動内容のみならず、運動の担い手も多様化してきていると言える。このようなキリスト教界におけるイスラエルへの関心の高まりを受け、2014年に韓国の代表的宣教連合機構である Korea World Missions Association (KWMA)は『KMQ』でシオニズム特集を組み、同運動が持つ危険性を指摘すると同時に、ユダヤ人宣教の必要性についても論じている⁴⁶。

3-2. 対ユダヤ人宣教活動

韓国のキリスト教シオニストは、宣教活動に積極的である。たとえば、韓東大学校では、イスラエル宣教サークル、Ohr が1992年の大学創立時に設立され、現在も活動が続けられている。Ohr は Onnuri Community Church のイスラエル宣教部の初代部長であり、韓東大学校の教授であった Jong-bae Gim (Kim)と韓東大学校1期生の Yo-han Gim (Kim)によって創設された⁴⁷。1995年以降、学生たちがイスラエルに2ヶ月程度滞在しながら現地人と交流し、韓国やキリスト教について紹介している⁴⁸。

宣教を目標として掲げた活動——イスラエルでの行進や文化公演も様々な団体や教会によって、行われている。InterCP は2004年には Ye-lu-sal-lem-pyeong-hwa-dae-haeng-jin (エルサレム平和大行進)を主催し、2500人の韓国人クリスチャンがエルサレムからパレスチナまで祈りながら行進し、路上で文化公演を行った⁴⁹。この翌年には、韓国のメガチャーチ、Hallelujah Church (ハレルヤ教会)、Onnuri Community Church、Global Mission Church (地球村教会)も共同代表となって行進が挙行され、2500名余りの韓国人クリスチャンが参加している⁵⁰。また、Gugi Glory Church (舊基洞栄光教会)も、宣教を目的に2016年と2018年にイスラエルで Arirang Festival を開催している⁵¹。同様の取り組み Shalom Jerusalem は、KIBIによっても2017年と2018年にイスラエルでなされた⁵²。

それらに加え、直接的なユダヤ人宣教も行われている。たとえば、IMN はイスラエルにいる韓国人宣教師や、メシアニック・ジューと協力し、イスラエルで家

庭教会を開拓している。2020年現在、15の都市に30の教会が開拓されたという⁵³。また、ネパールの宣教団体と協力し、観光に来たユダヤ人に宣教する試みもなされている⁵⁴。2019年、KWMAによって「宣教対象としてのイスラエル」というフォーラムが開催されたことは、韓国におけるイスラエル宣教への関心の高まりを示す出来事と言えよう⁵⁵。

ユダヤ人宣教活動への積極的姿勢は、宣教が韓国の教会に与えられた使命であるという意識に支えられているのであろうか。前延世大学校数学科の教授で KIBI の代表である Man-seok Song は、韓国教会が「イスラエルの宣教のために大きな役割を担うように呼ばれました」と述べている⁵⁶。前韓東大学校の国際学教授、Paul Choe も「韓国の教会は中国、シニムの軍隊に先立ち、中国からエルサレムに至る戦略的に重要な都市を攻略する霊的特攻隊の役割を担うでしょう」と述べている⁵⁷。さらに、Hyeok-seung Gwon (Kwon) も、韓国教会はイスラエル対する宣教的使命が担えるように、神によって準備されている、としている⁵⁸。こうした使命感は、概ね韓国のキリスト教シオニストの間で共有されている。

3-3. 政治への関与

韓国のキリスト教シオニストは概してイスラエル、アメリカの保守政権に好意的であるが、団体や個人によって、若干の立場の違いが見られる。

たとえば、Paul Choe はイスラエルへの政治的・軍事的介入に消極的で、政治と宗教を区別しているように思われる。たとえば、9.11 後のブッシュ大統領の中東政策についても批判的で、「報復戦争では解決しない」⁵⁹、「我々ができることは、祈りしかない」と強調している⁶⁰。また、ユダヤ人はイスラエルを強力な世界帝国にし、ユダヤ民族の世界統治を実現することで「エルサレムの平和」が実現されると考えているが、彼らが努力するほど、「神の平和」は遠ざかるとし⁶¹、武力による解決や政治自体に、否定的、懐疑的立場を取る⁶²。Man-seok Song も、ユダヤ人のイスラエル帰還の支援以外に、政治的メッセージを発信しているようには見えず、実際に KIBI の働きも、イスラエル帰還以外の政治活動を積極的に展開しているとは思えない⁶³。

ただ、キリスト教シオニストらの政治運動への関与が指摘されているのも事実である。たとえば、国立外交院教授、Nam-sik In によれば、Geun-hye Bak (Park) (朴槿恵) の弾劾反対を掲げて始められた集会、Tae-geug-gi Bu-dae (太極旗部隊) のデモで星条旗とともにイスラエル国旗が見られるようになった背景には、韓国の保守的な一部のプロテスタント教会の存在があると指摘している⁶⁴。Han-sik Gim (Kim) は太極旗部隊の集会に参加し、Mun Jae-in (文在寅) 大統領の退陣を要求していた⁶⁵。

イスラエルの回復と、韓国国内における政治問題、とりわけ、朝鮮半島の統一が連関した主題として扱われていることは、韓国のキリスト教シオニズムに特徴的な事柄である。たとえば、IMNでも「韓国の教会はイスラエル回復のために献身することで、南北が福音によって統一され、ともに福音をイスラエルに持っていき、イスラエルの福音化が完成する」としている⁶⁶。彼らが目指すのは、福音による南北の統一、「福音統一」である。そのため、対北融和政策によって、統一実現を目指す政権には否定的立場を取る。2016年に Han-gug-gi-dog-gyo-ji-do-ja-hyeob-ui-hoe(韓国キリスト教指導者協議会)がイスラエルで開催した Mizpah Dae-gag-seong-gi-do-seong-hoe(ミツパ大覚醒祈禱聖会)でも、「偶像崇拜、中絶、自殺、同性愛など韓国を支配している国家的罪と物質主義、成功主義、人本主義など韓国教会に内蔓延している罪」を悔い改め、朝鮮半島統一のために祈る時間が持たれている⁶⁷。

嘉泉大学校社会科学部教授の Yong-hui I (Lee)が代表を務める団体、Esther Prayer Movement(エステル祈禱運動)も朝鮮半島の統一とイスラエル回復をビジョンとして持つ⁶⁸。同団体は同性愛等、宗教的信念に関する部分については意見を表明するが、特定の政党や政治家への支持や反対は掲げないとし⁶⁹、Hankyoreh(ハンギョレ新聞)によってインターネット上で組織的に世論を醸成していると指摘された際には、その事実を否定し、名誉毀損等で損害賠償請求訴訟を行っている⁷⁰。

このように、彼らの多くは反共産主義、反親北派の傾向を持ち、保守的価値観を共有している。しかし、政治運動への関与に対する積極性は個人、団体によって差が見られると言える。

4. 中文圏のキリスト教シオニズム

4-1. 歴史的展開

中文圏のキリスト教シオニズムには、主に二つの潮流がある。第一の潮流は Back to Jerusalem (BTJ)と呼ばれる運動で、「中国からイスラエルに至るまでの地域」、わけてもイスラム圏に福音を宣べ伝えることを目標としている⁷¹。BTJは1940年代に展開され⁷²、文化大革命以降、ほぼ消滅していた。しかし、ブラザー・ユンと呼ばれる Zhen-ying Liu(刘振营)らによって現在もビジョンが受け継がれている。

第二の潮流は、聖霊派の影響を強く受けた流れで、2000年以降に活動を活発化させている⁷³。この流れは「イスラエル」に福音を伝えることに主眼を置く⁷⁴。Chi-Huei Huang(黃齊蕙)によれば同運動はイスラエルの Tom Hessの祈りの家 Jerusalem House of Prayer for All Nations (JHOPFAN)でビジョンを受け取った中文

圏のリーダーを中心に展開されるようになったという⁷⁵。以下では、地域別に運動の展開について概観する。

(1) 中国

BTJ の情報は、主に海外に移住した中国人を通して発信されている⁷⁶。その代表的人物が Zhen-ying Liu である。彼は 1997 年に中国を脱出して以来、BTJ の宣教活動に対する責任を負い、活動してきた⁷⁷。現在、BTJ の事務所はイギリス、カナダ、オランダにあり、中国からイスラエルに至るまでの地域に宣教師を派遣している⁷⁸。中国で生まれた Thomas Wang (王永信) も、アメリカに移住し、1989 年に Great Commission Center International (大使命中心) を設立し、2007 年まで代表を務めている。同団体は、2005 年以降、ユダヤ人宣教にも取り組んでいた⁷⁹。

ただ、BTJ の実態については明らかでない部分も多い。Tobias Brandner は BTJ が中国において少数派の運動であると評している⁸⁰。一方、Luther Martin と Eugene Bach や、David Aikman は、BTJ のビジョンはほぼすべての地下教会で共有されているとしている⁸¹。また、BTJ の宣教的関心の所在についての評価も分かれる。たとえば、Zhen-ying Liu は「多くの華人がイスラエルを愛しているが、イスラム圏への宣教も重要で、彼らは切実に愛、福音を必要としている」と述べており、その関心はイスラム圏にあるようにも思われる⁸²。ただ、近年、中国人クリスチャンの間で、イスラエルへの関心が高まっていることも事実である。2004 年にエルサレムで開かれた ICEJ の集会には、1000 人近くの中国人が 10 を超える団体から参加しており、彼らは皆、イスラエルを愛し、エルサレムの平和の為に祈るクリスチャンであったという⁸³。そのため、Pil-chan I (Lee) のように、BTJ がイスラエル回復運動に変化しつつあると指摘する者もいる⁸⁴。

(2) 香港

1990 年代初頭、香港で最初に設立されたキリスト教シオニスト団体は、英国系のユダヤ人宣教団体である Christian Witness to Israel (CWI) の香港支部であった⁸⁵。ただ、1930 年代からアメリカのユダヤ人宣教団体である CPM も、香港の単立教会である Hephzibah Evangelistic Center (喜樂福音堂) と友好関係を保ってきたという⁸⁶。とはいえ、CPM の香港支部が設置されたのは 2007 年になってからのことである⁸⁷。

CPM の香港支部がこの時期になって、ようやく設置されたことは、2000 年以降に香港でイスラエルやユダヤ人への関心が高まってきたことと無関係ではなからう。香港人によるキリスト教シオニスト団体も 2000 年以降、創設されている。2002 年、イスラエルや香港、中国、世界のために 24 時間祈るというビジョンを掲げる God's Glory Ministry (榮耀事工) が Gloria Mok (莫莊雅) によって設立され⁸⁸、2004 年にはイスラエルのニュースを発信する Kingdom Ministries (國度事奉

中心)が Andrew Ho (何寶生)によって始められた⁸⁹。また、祈り会や聖書講座を行う Thy Kingdom Thy People (爾國爾民)も 2007 年に設立された⁹⁰。この他に、国際的キリスト教シオニスト団体——ICEJ、LCJE、CFI、CMJ——の香港支部も開設されている。このような状況の中で、2012 年、香港の教会に属する Yuk-Fai Lo (老旭暉)は、台湾の長老派教会が発刊する雑誌 *New Messenger Magazine* (『新使者』)に特別寄稿し、教会内でパレスチナ人を敵視するキリスト教シオニズムが影響力を拡大している点、また、それが教会や社会に及ぼす影響に懸念を示している⁹¹。

(3) 台湾

台湾においても CWI が最初期のキリスト教シオニスト団体と言える。台湾初の対ユダヤ人宣教師、I-ming Lan (藍逸明)も 1996 年に CWI に加入しユダヤ人宣教に従事した⁹²。1998 年には、CWI の小グループが台湾で活動を始めている⁹³。

2000 年に入り、台湾人によるキリスト教シオニスト団体も設立された。2000 年に Andrew Chang (章啟明)によって Tabernacle of David (大衛會幕禱告中心)が創設され、2004 年ごろには New Grace Church (台灣新恩堂)で牧師を務める Lily Liu (劉玉霞)によりイスラエルのための祈り会が設置された。2007 年には Taipei Bread of Life Christian Church (台北靈糧堂)の Nathaniel Chow (周神助)によって Prayer Center in Jerusalem が設立されている⁹⁴。

ユダヤ人の国際的支援組織である Keren Hayesod-UIA や、ICEJ の台湾支部も、それぞれ 2012 年と、2013 年に開設された。台湾 Holocaust 和平紀念館は 2002 年に設立されているが、設立者の Chih-an Chuo (卓枝安)は聖イエス会のロゴス神学院で大槻武二に学んだ経歴を持つ長老派の牧師である⁹⁵。とはいえ、長老派の多数はキリスト教シオニズムに対して好意的とはいえない。たとえば、『新使者』は 2019 年にも Sian-chin Iap (葉先秦)による、キリスト教シオニストの盲目的イスラエル支持を批判する記事を掲載している⁹⁶。

4-2. 対ユダヤ人宣教活動

モリ・カイネイによれば、1990 年代初頭から福音派の世界的なユダヤ人伝道ネットワーク組織、LCJE の主張が華人教会の間で広がり、2000 年に入ってから強く支持されるようになったという⁹⁷。

中国におけるユダヤ人宣教活動、またイスラエルにいる中国人宣教師についての情報は極めて少ないが、2017 年に LCJE 日本支部によって開催された東アジア・ユダヤ人伝道カンファレンスには中国からの参加があり、中国におけるユダヤ人への宣教活動について報告している⁹⁸。香港でも、CPM や Stepping Stones Tutti によって、香港に長期在留や短期滞在するユダヤ人への宣教が行われている⁹⁹。

Hsüeh-hsin Chou（周學信）によれば、近年、台湾のキリスト教会においてもユダヤ人への宣教活動が盛んになってきているという¹⁰⁰。Chao-hui（召會）はイスラエルでユダヤ人宣教に従事している教派である。聖書無謬説をとり、福音派的傾向が強いことを特徴とする¹⁰¹。Chao-hui の機関紙によれば、同教会はテルアビブや、ネタニヤ、ハイファなどの港町を中心にイスラエルでの宣教活動を開始し、2013年からは、エルサレムでの集会も行っている¹⁰²。また、Taipei Bread of Life Christian Church は2014年からイスラエルにあるメシアニック・Congregations と協力関係を結び、支援活動をしている¹⁰³。

Taipei Bread of Life Christian Church は聖霊派に属するものの、Chao-hui と同様に聖書無謬説をとり、根本主義的特徴を持つ。興味深いことに、いずれもミッション系とは距離を置く、独立系の国語教会——すなわち、中国で成立し、戦後台湾に渡ってきた中国語での礼拝を基本とする教会である。

4-3. 政治への関与

Aikman によれば、中国のクリスチャンの間には圧倒的な親イスラエルの空気が認められ、多くの地下教会の信徒はイラク戦争でのアメリカの勝利のために祈っていたという¹⁰⁴。香港や台湾のキリスト教シオニストも、イスラエルやアメリカの保守政権に好意的である¹⁰⁵。しかし、そのような態度を否定的に捉える立場もある。台湾の China Evangelical Seminary（中華福音神學院）の Hsien-chang Wu（吳獻章）は、イスラエル建国を預言の成就と解し、ユダヤ人は人類の救済に欠かせないとしながらも、台湾の一部のキリスト教シオニストが、ユダヤ人を特別視し、無批判にイスラエルを支持していると批判している¹⁰⁶。Iap は台湾のキリスト教シオニズムについて、北米のキリスト教右派の傾向がそのまま持ち込まれた運動であると指摘している¹⁰⁷。Iap の指摘が当たっているとすれば、彼らがアメリカのキリスト教右派に好意的であることは肯ける。

さて、イスラエルやアメリカの保守政権に好意的でありながら、中国にも近く見えるのは、香港や台湾のキリスト教シオニストに特徴的な事柄である。Brandner は、BTJ は自覚的ではないにせよ、2000年に開始された中国の「西進」等の政策と同じ文脈の中で理解でき、両者の間には並行関係が見られるとしている¹⁰⁸。香港の Full Gospel Business Men's Fellowship International の Hugo Chan（陳世強）は、中国の政策と BTJ を自覚的に結びつけている。Chan は、キリスト教徒は聖書を根拠に「中国の夢」や「一帯一路」を文化的、経済的、政治的な方法で実現していくべきと主張する¹⁰⁹。他の香港のキリスト教シオニストも、香港独立を目指す運動とは距離を置いている。たとえば Ho は、正しくないことについて教会が政府に否と言う責任はあるとしつつも、教会がデモ活動に参加することには否定的

立場を示している¹¹⁰。一部のメディアで、親中派と批難されている Mok のミニストリーや、Zhen-ying Liu のウェブサイトにも、香港独立や中国政府に関する記事は見られない¹¹¹。

台湾でイスラエルを支持する教会も、中国に近いという指摘がある。これらの教会のうち、国語独立系教会が少なくないが、藤野陽平は国語独立系教派は政治的に統一派的立場をとる人が多くなると指摘している¹¹²。彼らが共産主義を肯定している訳ではないにせよ、中国、台湾のキリスト教徒の連帯、ひいては華人の連帯を希求しているならば、それが親中的という評価に繋がる可能性はある¹¹³。また、香港、台湾のキリスト教シオニストはアメリカのそれと同様に反同性愛を掲げるなど、保守的傾向を強く持つ¹¹⁴。台湾で保守的価値観を代弁しているのは親中的色彩の濃い国民党である。これも、彼らが中国に近いと解される一因であろう。

5. 日本のキリスト教シオニズム

5-1. 歴史的展開

日本のキリスト教シオニズムは 1920 年代頃から (1) 無教会派の流れに属する人物やグループと、(2) 旧ホーリネス教会指導者の中田重治(1870-1939)の流れに属する人物やグループによって展開されてきた。

無教会派でイスラエルについて語った人物には、内村鑑三(1861-1930)、矢内原忠雄(1893-1961)、藤井武(1888-1930)などがいる¹¹⁵。中田は晩年、イスラエルに終末論的な意味を付与する思想を強め、1933 年にホーリネス教会は、きよめ教会と日本聖教会に分裂した。中田のイスラエルに関する教えを継承したきよめ教会は 1940-1941 年にナチスの迫害を逃れて、シベリヤ経由で日本に来たユダヤ難民の救援活動に関わっている¹¹⁶。戦後、「ホーリネス」という呼称を用いているのは日本聖教会に属するグループであるため、以下では、中田の流れに属する教会を、旧ホーリネス系の教会と呼ぶ。

戦後、(1) 無教会派の流れに属する手島郁郎(1910-1973)は、現在、原始福音・キリストの幕屋と呼ばれる集会を 1965 年に創設した¹¹⁷。Mark R. Mullins は、幕屋運動には無教会派的伝統との共通点が多く見られるものの、無教会には見られないようなペンテコステ派的特徴も見られると指摘している¹¹⁸。幕屋はイスラエル支持に力を入れ、「日本・イスラエル親善協会」の運営に深く関わっている。同協会は日本における中心的なイスラエル・ロビー団体とも言われている¹¹⁹。

(2) 中田の流れに属する大槻武二(1906-2004)は 1946 年に聖イエスを設立した。この教会は現在、ホロコースト記念館 (1995 年設立) や、ユダヤ人旅行者向

けのゲストハウスを運営し、留学生の受け入れ等をしている¹²⁰。ただ、彼らは異邦人がユダヤ人に福音を説く資格がないと考えており、自らの使命をイスラエルの再興とエルサレムの平和のために祈ることとしているという¹²¹。

この他にも、(2)の流れに属する者が戦後、基督兄弟団を結成して活動を再開した。同教団は1971年にThe American Board of Missions to the Jewsのユダヤ人宣教師、Daniel Fuchsらを夏季聖会の主講師として招いている¹²²。同教団の川津旭は、講演に感銘を受け、1987年にユダヤ人伝道団体、ジャパン・イスラエル・ミッションを設立した¹²³。また、旧ホーリネス系の教会で救われた李華峰も1984年に慰めの声宣教団・万国祈りの家を建てている。多くのユダヤ人がここを訪れたが、交流が中心で、積極的な伝道は行われなかった¹²⁴。

1990年代に入り、日本にメシアニック運動が紹介され、キリスト教シオニズムも拡大していく。1993年に米国のメシアニック・コングリゲーションの執事だった内山憲司が一時帰国し、旧ホーリネス系の教会で救われた横山隆と出会った。二人が中心となって、同年に日本メシアニック親交会(JMF)が設立された。JMFは10年にわたり、多くのメシアニック・ジュー講師を日本に招く活動を行った¹²⁵。その後、内山は日本に戻り、息子のイサクがユダヤ人女性と結婚したこともあって、2013年には日本で唯一と見られるメシアニック・コングリゲーション「いのちの木メシアニック集会」を東京に設立している¹²⁶。

日本におけるユダヤ人伝道を行う、エターナル・ラブ・イスラエルが1993年に宮本純子によって設立された¹²⁷。宮本は基督兄弟団でユダヤ人やイスラエル、終末論について菩提寺万里から聞き、同団体を立ち上げるに至った¹²⁸。

この時期、国際的なキリスト教シオニスト団体の日本支部も旧ホーリネスと関係のある人々によって設立されている。1994年には中川健一らによってLCJE日本支部が¹²⁹、1996年にはイスラエルでツアー・ガイドをしていたスティーブンス・栄子らによりBFPの日本支部局が設立された¹³⁰。さらに、同年、世界各地のユダヤ人のイスラエルへの帰還移民を支援するエベネゼル緊急基金(Ebenezer Emergency Fund)の日本窓口が、岡田好弘らによって設置されている¹³¹。

また、基督兄弟団から1958年に独立した基督聖協団でも、石川洋一が理事長を務めていた1999年と2000年には、イスラエルに代表団を派遣している¹³²。1999年には、イスラエルのメシアニック・ジュー支援を活動の柱とする「シオンとの架け橋」が旧ホーリネス系の流れに属する教会によって設立された¹³³。

このように、1990年代は前述の(1)、(2)の流れを汲む人々を中心に運動が展開されていた。しかし、2000年代以降は聖霊派が、積極的に運動に関わるようになっていく。たとえば、2003年には聖霊派の牧師である行澤一人によって「シオンの喜び」が設立され¹³⁴、メシアニック団体であるリバイブ・イスラエルの支援

窓口となった。なお、この活動は2019年にティックーン・ジャパン・パートナーシップに継承されている¹³⁵。2006年には、Tom HessのJerusalem House of Prayer for all Nationsの日本で第一回目となる聖会「祈りの祭典」が開催され¹³⁶、聖霊派の間にキリスト教シオニズムを広める役割を果たした。2019年2月に開催された聖霊派の教役者大会（JPFカンファレンス）に、イスラエルのメシヤニック・ジューが主講師として招かれたことも、関心の高まりを示す出来事と言えよう¹³⁷。

なお、この間に聖霊派以外の人々も多く関わる団体が少なくとも二つ——2008年にスティーブンス・栄子による教会にイスラエルに関する教育を提供するオメガ・ミニストリーズ¹³⁸、2015年に基督聖協団の石田吉男によるサハリンでのユダヤ人伝道や人道支援活動を手掛けるエンドタイム・ビジョン・ミニストリーズが——設立されている¹³⁹。

以上で概観したように、日本のキリスト教シオニズムには大きく二つの潮流があり、近年はそれらに加え、聖霊派が影響力を増してきている。しかし、Mullinsが指摘するように、原始福音・キリストの幕屋や聖イエス会が聖霊派的要素を持つこと¹⁴⁰、ペンテコステ運動がそもそもホーリネスから始まった運動であることに鑑みれば、2000年代以前から、日本のキリスト教シオニズムに聖霊派的要素が内包されていたとも言える。

5-2. 対ユダヤ人宣教活動

日本では対ユダヤ人宣教を直接行う団体が非常に少ない。エターナル・ラブ・イスラエルは日本でユダヤ人宣教を行っている。団体設立当時、多くのユダヤ人の若者が日本に来て露天商などを営んでいたため、彼らにトラクトを配布する活動がなされていた。その後、露店営業の取締りが厳しくなるなどしたため、この活動は停止し、現在は観光客に対する伝道活動等を行っている¹⁴¹。この他に、近年、イスラエルで直接伝道を試みる聖霊派の教会も登場しているが、現在は活動を休止している¹⁴²。

日本のキリスト教シオニスト団体による宣教関連活動のうち、主たるものは、ユダヤ人伝道を行う海外の団体への献金の取次である¹⁴³。たとえば、ジャパン・イスラエル・ミッションの川津旭は、近年までイスラエルに断続的に滞在しながら活動していたが、主な活動内容は、現地での集会参加や祈り、献金の取次などであった¹⁴⁴。

日本のキリスト教シオニストは、韓国や中華圏の団体に比し、宣教活動に積極的とはいえない。とはいえ、ユダヤ人宣教を行う団体への献金をしている団体が存在するのであるから、対ユダヤ人宣教が必要であると考える者も少なくないと言えよう。

5-3. 政治への関与

日本のキリスト教シオニスト団体の中で、政治的なロビー活動で知られているのは原始福音・キリストの幕屋と聖イエス会である¹⁴⁵。Carlo Caldarolaによれば、原始福音・キリストの幕屋は、イスラエルに関することについて高い政治的関心を持つという¹⁴⁶。同団体は新しい歴史教科書をつくる会との関係が指摘されるなど、政治的には右派に属すると言える¹⁴⁷。ただ、幕屋が深く運営に関わる日本イスラエル親善協会が発行する広報誌『ISRAEL』では、イスラエルの政策を支持する署名や、デモ参加の呼びかけなどはほとんど行われていない。

日本の一部のキリスト教シオニスト団体は、イスラエルの政治情勢について、情報発信をしている。具体的には、B.F.P.Japanの機関誌『オリーブライフ』や、シオンとの架け橋の電子メールニュースと季刊『News From Zion』などがある。これらは、イスラエルの政治的立場を支持しているものの、比較的穏健な主張が多い。両団体ともに政府への働きかけなどは行っていない。

そのほか、2012年4月には、日本メシアニック親交会の横山隆らが中心になり、ヨーロッパのキリスト教シオニスト団体 The European Coalition for Israel の協力のもと、「サン・レモ会議を記念する」という趣旨で、国会議員を招いた政治的集會が開催されたことがある¹⁴⁸。しかし、これは単発の催しで、その後、活動は継続されていない。

このように、日本においては一部のキリスト教シオニスト団体による政治への関与が指摘されているが、政治的活動に熱心ではないグループが多数を占め、他地域に比し、政治的活動にも消極的と評価できる。ただ、村山盛忠のように、日本でも一部のキリスト教徒がイスラエルを無批判に支持し、パレスチナ人に無関心であるとして、これに警鐘を鳴らしている者もいる¹⁴⁹。

6. おわりに

以上、韓国、中文圏、日本のキリスト教シオニズムについて、歴史的展開および活動内容を概観した。そして、同一地域内でも異なる潮流が存在すること、また多様な団体が活動を展開しており、それらの団体の宣教や政治活動への積極性も一様ではないことを指摘した。中文圏と韓国では、キリスト教シオニズム的終末観を持ちながらも、ユダヤ人宣教のみならず、イスラム圏の宣教に主眼を置く団体も存在していた。

ただ、三つの地域の運動に共通して見られる傾向もある。具体的には、根本主義的聖書解釈を特徴とする聖霊派や福音派のクリスチャンが、運動の主たる担い手となっていること、そして政治的には保守的傾向が強く、おおむねイスラエル

およびアメリカの保守政権に好意的であること、等である。

地域ごとに見られた特徴については以下のような仮説が立てられる。韓国のキリスト教シオニストは反共主義の色彩が濃く、イスラエルの回復と朝鮮半島の統一を連関する問題として捉えていた。また、政治に直接関与するか否かは別にして、政治への関心が高かった。その理由として、歴史的に韓国のキリスト教が政治と強い関係を持ってきたこと、また、アメリカの韓国系教会等を通してアメリカからの影響を受けやすいであろうこと等が考えられる。

香港や台湾のキリスト教シオニストはアメリカの保守派に好意的でありながらも、中国に近いと評価されていた。その背景には、彼らが国語教会に属し、華人教会の連帯を目指していることや、保守的価値観の代弁者となっている政党が親中派であること、があるのではないか。中文圏のキリスト教シオニストの複雑な政治的立場は、彼らの不安定な立場やアイデンティティを表しているように思われる。

日本に関しては、他地域に比し、宣教活動、政治的活動のいずれにも消極的で、座学や情報発信を好む特徴が見られた。そのような特徴が見られるのは、日本のキリスト教シオニズムの規模や影響力が小さく、宣教活動や政治活動をするのが物理的に困難であるからなのか、あるいは日本のキリスト教の特徴——宣教活動に対する消極性、実践より学びを重視する傾向——がそのまま反映されたに過ぎないのか、一考に値する。

これらの仮説の検証については、今後の課題としたい。また、今回は詳しく論じられなかった、彼らの活動を支える動機や神学的背景についても、稿を改めて論ずることとする。

推薦者：アダ・タガー・コヘン
同志社大学神学部神学研究科教授

註

¹ Donald E. Wagner, "The Alliance between Fundamentalist Christians and the Pro-Israel Lobby: Christian Zionism in US Middle East Policy," *Holy Land Studies* 2.2 (2004), 163-187, 163.

² David Brickner, "How Christian is Christian Zionism?: An Update on Its Uneasy Interaction with Jewish Mission and Evangelism," *Mishkan* 60 (2009), 69-80, 71.

³ 小原克博『一神教とは何か——キリスト教、ユダヤ教、イスラームを知るために』平凡社、2018年、150-152、170頁。

⁴ Donald E. Wagner, *op cit.*, 174.

⁵ *Ibid.*

-
- ⁶ Jason M. Olson, “The Impact of the Six-Day War on Jewish-Protestant Relations,” (PhD diss. Brandeis University, 2016), 122, 218.
- ⁷ Yaakov S. Ariel, *An Unusual Relationship: Evangelical Christians and Jews*, (New York University Press, 2013), 179-180.
- ⁸ David Brickner, *op cit.*, 71.
- ⁹ Yaakov S. Ariel, *op cit.*, 183.
- ¹⁰ David Brickner, *op cit.*, 71.
- ¹¹ Yaakov S. Ariel, *op cit.*, 193.
- ¹² Daniel Fuchs, Harold A. Sevener, Arnold G. Fruchtenbaum and Moishe Rosen, “Trends in Jewish Evangelism in North America: A Profile of Jewish Mission,” *Mishkan* 10 (1989), 64.
- ¹³ *Ibid.*, 67.
- ¹⁴ David Rudolph and Joel Willitts, *Introduction to Messianic Judaism: It's Ecclesial Context and Biblical Foundations*, (Zondervan, 2013), 31-33.
- ¹⁵ 古屋安雄『激動するアメリカ教会』ヨルダン社、1978年、49、84-86頁。
- ¹⁶ Yaakov S. Ariel, *op cit.*, 181.
- ¹⁷ *Ibid.*
- ¹⁸ *Ibid.*
- ¹⁹ David Brickner, *op cit.*, 71.
- ²⁰ Donald E. Wagner, *op cit.*, 176.
- ²¹ Yaakov S. Ariel, *op cit.*, 181.
- ²² David Brickner, *op cit.*, 72-73.
- ²³ Stephen R. Sizer, “The Promised Land: A Critical Investigation of Evangelical Christian Zionism in Britain and the United States of America since 1800,” (PhD diss. Middlesex University and Oak Hill Theological College, 2002), 102.
- ²⁴ Donald E. Wagner, *op cit.*, 177.
- ²⁵ 当時の大部分の再臨思想家らは終末の予兆としてのシオニズムに注目していたという。Deok-man Bae, “Han-gug-seong-gyeol-gyo-hoe-ui Jae-lim-sa-sang-e Dae-han Yeog-sa-jeog Go-chal (1907nye-on-bu -teo 1943nye-on-kka-ji),” *Seong-gyeol-gyo-hoe-yeog-sa-yeon-gu-so*, 1997, 21. <http://www.sgti.kr/data/field/sunggyul-theology/others/3.hwp> (last visited July 10, 2020).
- ²⁶ Han-sa-lang-seon-gyo-hoe & Han-sa-lang-messianic-sin-hag-won, “Sin-hag-won An-nae Yeon -hyeog,” March 16, 2012, <http://cafe.daum.net/Yeshua/17S/4> (last visited July 5, 2020).
- ²⁷ “Nae Baeg-seong-eul Wi-lo-ha-la,” On-nu-li-sin-mun, January 31, 2016, http://news.onnuri.org/m/board/board_view.php?Mode=I&BoardID=10&ViewType=T&page=1&BoardSeqNo=15020&pagesize=undefined&SortOrder=Asc&mnuBookNumber=0 (last visited July 19, 2020).
- ²⁸ Brad TV, “Yu-dae-in-e-ge Jeon-do Bad-eun Han-gug-in: Gim-jong-bae Han-dong-dae Myeong -ye-gyo-su,” April 1, 2020, <https://bradtv.net/archives/7031> (last visited July 19, 2020).
- ²⁹ KIBIKOREA, “KIBI Yeog-sa,” http://kibikorea.com/kibi_소개/kibi_소개/kibi-역사/ (last visited July 5, 2020). Ji-hyeong Bak (Park), “KIBI Shalom Jerusalem Dae-hoe,” CTS Gi-dog TV, June 29, 2018, https://www.cts.tv/news/view_card?ncate=THMNWS18&dpid=236148&fbclid=IwAR2GY53_cBsx1ek9aGvxPzW22BDGvvVPL93tX2D89JLb1VBSliU-hOaIhDoo (last visited July 19, 2020).
- ³⁰ Shalom Israel, “Bal-ja-chwi,” <https://shalomisrael.or.kr/history> (last visited July 19, 2020).
- ³¹ Paul Choe, *Wang-ui Dae-lo*, Do-seo-chul-pan Pyeo-nae-gi, 2009, 263-265, 294-296; Paul

-
- Choe, *Wang-ui Na-la*, Do-seo-chul-pan Pyeo-nae-gi, 2011, 13-14, 162.
- ³² Sung-Gun Kim, “Korean Christian Zionism: A Sociological Study of Mission,” *International Review of Mission* 100 (2011), 85-95, 89; Pil-chan I (Lee), *Back to Jerusalem Un-dong, Mu-eos-i Mun-je-in-ga: Han-gug Gyo-hoe Sog-ui Wae-gog-doen Jong-mal Sa-sang-gwa Seon-gyo un-dong*, Sae-mul-gyeol plus, 2016; I-cheol Jeong, *Sin-sa-do Un-dong-e Ppa-jin Gyo-hoe : Han-gug-gyo-hoe Sog-ui Dwi-teul-lin Seong-lyeong-un-dong*, 2012.
- ³³ Onnuri Community Church や Han-sa-lang Seon-gyo-hoe には聖霊派の特徴が見られる。I-cheol Jeong, *op cit.*, 374-376.
- ³⁴ Pil-chan I (Lee), *op cit.*, 285, 297.
- ³⁵ Cheol-hwan Jo, “Ha-na-nim-ui Yag-byeong,” Derek Prince Seon-gyo-hoe Han-gug-ji-bu, 2013, <http://cafe.daum.net/derekprince/Ovuc/7> (last visited July 5, 2020). Hyang-suk I (Lee), *Ha-na-nim Ma-eum-eu-lo Bae-u-neun Israel*, KIM chul-ban-sa, 2017, 61-63.
- ³⁶ Brad TV, “Brad Show 74hoe ‘Chaj-a-ga-neun Israel Hag-gyo’: Bag Jae-nam Mog-sa,” January 20, 2016, <https://bradtv.net/archives/2528> (last visited July 5, 2020).
- ³⁷ Chung-ryeol Gim (Kim), *Neo-neun I-je Ga-la: Eun-hye-lo Geol-eo-on 29nyeon Eun-toe-gi-nyeom Seol-gyo-jib*, Qumran Chul-pan-sa, 2016, 319.
- ³⁸ KAM, “So-gae KAM,” <https://www.kingdomarmy.com/about> (last visited July 5, 2020).
- ³⁹ Joyce Jeong, “Love 153 So-gae (Introduction)” LOVE153, <http://love153.kr/bbs/page.php?hid=love153> (last visited July 5, 2020).
- ⁴⁰ Brad Ministries, “Gim Jong-cheol Gam-dog,” <http://ministry.bradtv.net/ceo-intro/> (last visited July 5, 2020).
- ⁴¹ KRM News, “ABOUT,” <http://krmnews.tv/krm-about/> (last visited July 5, 2020).
- ⁴² Igoodnews, “Israel Hoe-bog, Yu-dae-in Sa-lang-i Cheos-geol-eum-ib-ni-da,” <https://www.igoodnews.net/news/articleView.html?idxno=57574> (last visited July 5, 2020).
- ⁴³ 年 1～2 回開催され、論文集が発行されている。
- ⁴⁴ Han-gug IFCJ, “Han-gug IFCJ lan?,” http://www.ifcj.kr/?page_id=10 (last visited July 5, 2020).
- ⁴⁵ Brad TV, “Brad Show 257hoe ‘Seong-gyeong-gwa Israel Gwa-geo, Hyeon-jae Geu-li-go Mi-lae’: Jeong Tae-gwon Mog-sa,” August 7, 2019. <https://bradtv.net/archives/4296> (last visited July 5, 2020).
- ⁴⁶ KWMA, *Seon-gyo-han-gug KMQ*, 13-3, (2014).
- ⁴⁷ Brad TV, “Gyo-hoe-sa-e Na-ta-nan Ban-yu-dae-ju-ui: Gim-yo-han Mog-sa,” March 4, 2020. <https://bradtv.net/archives/6867> (last visited July 18, 2020).
- ⁴⁸ Mi-yeong Gim, “Han-dong-dae Ohr Cham-bich Yeshua-leul Israel-e Bi-chu-da,” Otzzar, August 21, 2016, <https://www.otzzar.com/single-post/2016/08/21/한동대-오르-참빛-예슈아를-이스라엘에-비추다> (last visited July 18, 2020).
- ⁴⁹ Pil-chan I (Lee), *op cit.*, 285; Sung-Gun Kim, *op cit.*, 89; Edward Kim, “Jerusalem Pyeong-hwa-dae-haeng-jin, Geu I-hu...I-je Dae-hoe-neun Ma-mu-li Doe-eoss-da. Geu Gyeol-gwa-neun Eo-teo-hal Geos-in-ga?,” newspower, August 11, 2004, <http://m.newspower.co.kr/2444> (last visited July 18, 2020).
- ⁵⁰ “Jerusalem Pyeong-hwa-dae-haeng-jin 2500myeong Cham-seog,” Christian Today, August 18, 2005, http://www.christiantoday.us/sub_read.html?uid=6226 (last visited July 21, 2020).
- ⁵¹ Mu-jeong Gim (Kim), “Seong-gyeong-ui Mu-dae Jerusalem-e-seo Alilang-eu-lo Han-gug

-
- Al-lin-da,” Gug-min-il-bo, July 5, 2016, <http://news.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid= 0923578406> (last visited July 21, 2020). “Seong-han-gug-jeon-tong-mun-hwa-wa Han-lyu Yeol-pung-eu-lo Yu-dae Cheong-so-nyeon, Cheong-nyeon-e-ge Bog-eum Jeon-hal Geos,” November 23, 2017, <https://www.christiantoday.co.kr/news/306500> (last visited July 23, 2020).
- ⁵² KIBIKOREA, “KIBI Yeog-sa,” <http://kibikorea.com/kibi 소개/kibi 소개/kibi-역사/> (last visited July 5, 2020).
- ⁵³ Brad TV, “Brad Show 263hoe 30yeo Gae-ui Ga-jeong-gyo-hoe-leul Israel-e Yeol-da: Im Do-hyeon Mog-sa,” September 25, 2019, <https://bradtv.net/archives/4313> (last visited July 5, 2020).
- ⁵⁴ Brad TV, “Brad Show 292hoe Israel-eul Sa-lang-ha-neun Ne-pal-ui Gi-dog-gyo-in-deul: Gang Gwang-sig Won-nyu-maen Sin-hag-gyo Asia Dae-pyo,” April 15, 2020, <https://bradtv.net/archives/7105> (last visited July 5, 2020).
- ⁵⁵ Brad TV, “Gyo-hoe-sa-e Na-ta-nan Ban-yu-dae-ju-ui? Gim Yo-han Mog-sa,” March 4, 2020, <https://bradtv.net/archives/6867> (last visited July 18, 2020).
- ⁵⁶ Man-seok Song, *Ji-geum-eun Jerusalem Si-dae*, Duranno Seo-won, 1999, 108.
- ⁵⁷ Paul Choe, *Wang-ui Dae-lo*, 296.
- ⁵⁸ Hyeok-seung Gwon (Kwon), “I-bang-in-ui Ttae-e Gwan-han Ye-eon-gwa Seong-chwi,” *Israel-ui Hoe-bog-ui Ye-eon-gwa Seong-chwi*, Israel-sin-hag-forum-wi-won-hoe, 2018, 143-145.
- ⁵⁹ Paul Choe, *op cit.*, 120-122.
- ⁶⁰ *Ibid.*, 124.
- ⁶¹ Paul Choe, *Wang-ui Na-la*, 144-145.
- ⁶² 1948年のイスラエル建国については、差し迫った終末の兆候であると述べているが、第三次中東戦争については触れていない。Paul Choe, *Si-dae-ui pyo-jeog, Do-seo-chul-pan Pyeo-nae-gi*, 2016, 42. また、「イエスはカイザルを認めたが、決して信頼なさいませんでした」と述べているように、政治自体に懐疑的とも言える。Paul Choe, *Wang-ui Na-la*, 176-177.
- ⁶³ 少なくとも *Ji-geum-eun Jerusalem Si-dae* にはイスラエル帰還に関するテーマを除き、政治的主張は見られない。ただ、KIBIの祈り会 GPNK では政治的テーマが度々扱われているという。
- ⁶⁴ Nam-sik In, “Tae-geug-gi-bu-dae-neun Wae Israel Gug-gi-leul Deul-eoss-eul-kka,” MEDICI MEDIA, July 19, 2019, <https://firezedt.com/?p=3542> (last visited July 6, 2020).
- ⁶⁵ CBS Christian NoCut News, “[CBS 뉴스] Han-gi-chong Cha-gi Dae-pyo-hoe-jang Hu-bo 'Jeon Gwang-hun Mog-sa·Gim Han-sig Mog-sa' hwag-jeong,” YouTube, January 16, 2019, <https://www.youtube.com/watch?v=6egNBIImMoHo> (last visited July 6, 2020).
- ⁶⁶ On Israel 91, “Israel-hag-gyo Mandate 5gang Gyo-hoe-wa Israel (Im Do-hyeon Mog-sa/Bethel-gyo-hoe) 2018.11.07,” YouTube, December 7, 2018, <https://www.youtube.com/watch?v=rnkYi3RANTQ&feature=youtu.be> (last visited July 21, 2020).
- ⁶⁷ KRM News, “[KRM News] 2016/7/4 Han-gug-gwa Israel-ui Hoe-bog-eul Wi-han ‘Mizpah Dae-gag-seong Gi-do-seong-hoe,’ YouTube, July 4, 2016, <https://www.youtube.com/watch?v=HVgoEONW7mk> (last visited July 6, 2020).
- ⁶⁸ Brad TV, “Brad Show 35hoe. ‘Bug-han-gwa Israel, Islam Gug-ga-leul Wi-hae Gi-do-ha-ja’: I Yong-hui Gyo-su,” April 22, 2015, http://www.bradtv.co.kr/pro_01/11798 (last visited May 24,

- 2018).
- ⁶⁹ Esther Gi-do-un-dong Gi-do-ui Jib, “Eo-neu Jeong-dang-eul Ji-ji-ha-sib-ni-kka?,” May 14, 2020, <http://www.pray24.net/board/9715> (last visited July 21, 2020).
- ⁷⁰ Min-je Gim (Kim), “<Han-gyeo-le> ‘Ga-jja-nyu-seu-ui Ppu-li-leul Chaj-a-seo,’ Son-bae-so-song Seung-so,” Han-gyeo-le, February 19, 2020, http://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/928795.html (last visited July 6, 2020).
- ⁷¹ ブラザー・ユン『天国の人』花谷めぐむ訳、マルコーシュ・パブリケーション、2009年、287-297頁。
- ⁷² Jian-guang Chen (陈剑光), (trans. Yuan Yang), “Zhong-guo-da-lu ji-du-tu tuan-ti-de xuan-jiao-yun-dong: ‘Fu-yin-chuan-hui-Ye-lu-sa-leng’ yun-dong,” *Ji-du-jiao-xue-shu* (『中国大陆基督教徒团体的宣教运动：“福音传回耶路撒冷”运动』『基督教学术』) 9, 2011, 159-183.
- ⁷³ Chi-huei Huang, “‘Jump to Jerusalem’: The new back to Jerusalem movement of the Chinese Christian world, 2000-2010,” (PhD diss. Fuller Theological Seminary, 2011), 42.
- ⁷⁴ *Ibid.*, 148.
- ⁷⁵ *Ibid.*, 42-44.
- ⁷⁶ Jian-guang Chen, *op cit.*, 170.
- ⁷⁷ ブラザー・ユン、前掲書、297頁。
- ⁷⁸ Back to Jerusalem, “About,” <https://backtojerusalem.com/about/> (last visited July 6, 2020).
- ⁷⁹ なお、同団体は2017年6月30日に解散している。Can Wai-man, Can Wai-syut eds. (陳惠文, 陳惠雪編), *Da-shi-ming-zhong-xin-gan-en-ji-nian-te-kan*, Da-shi-ming-zhong-xin-chu-ban (『大使命中心感恩記念特刊』大使命中心出版), 2017, 18. <http://www.globalmissiology.org/gcci/pdf/GCCI%20Special%20Issue.pdf> (last visited July 10, 2020).
- ⁸⁰ Tobias Brandner, “Mission, Millennium, and Politics: A Continuation of the History of Salvation - from the East,” *Missiology: An International Review* 47/3 (2009), 317-332, 328.
- ⁸¹ Brother Zhu ed., *Back to Jerusalem of the East: The Underground House Church of North Korea* (Fifth Estate, 2011), 108. David Aikman, *Jesus in Beijing: How Christianity is Transforming China and Changing the Global Balance of Power* (Regnery Publishing, 2006), 196.
- ⁸² Brad TV, “Jerusalem-eul Hyang-han Jung-gug-ui Bu-leu-sim,” March 29, 2017, <https://bradtv.net/archives/3935> (last visited July 21, 2020). See also, David Aikman, *op cit.*, 202.
- ⁸³ *Ibid.*
- ⁸⁴ Pil-chan I (Lee), *op cit.*, 21-22.
- ⁸⁵ Rong-yao-shi-gong (榮耀事工), *Rong-yao-shi-gong* (『榮耀事工』) 2010, 1.
- ⁸⁶ Xuan-min-shi-gong-cha-hui (選民事工差會), “Li-shi, Xin-yang-xuan-yan” (『歷史, 信仰宣言』), <https://chosenpeople.org.hk/歷史、信仰宣言/> (last visited July 6, 2020).
- ⁸⁷ *Ibid.*
- ⁸⁸ Rong-yao-shi-gong (榮耀事工), “Shi-gong-jie-shao” (『事工介紹 About Us』), <http://www.godsglory.net/index.php/about-us> (last visited July 6, 2020).
- ⁸⁹ Chi-huei Huang, *op cit.*, 49.
- ⁹⁰ Thy Kingdom Thy People, “Shi-gong-jian-jie” (『事工簡介』), <http://www.tktp.org/關於我們/> (last visited July 6, 2020).

- ⁹¹ Yuk-fai Lo (老旭暉), “Ni-chih-chih-na-i-pien? Chien-tan ‘Chi-tu-chiao-hsi-an-chu-i,’” *Hsin-shih-che* (「你支持那一邊？淺談『基督教錫安主義』」『新使者』) 133, 2012, 48-54.
- ⁹² Tai-pei-lin-sen-nan-lu-li-pai-tang (台北林森南路禮拜堂), *Hsuan-chiao-pao-pao* (『宣教報報』), July 2013, 1, http://www.linnan.org.tw/sites/default/files/download_files/2013年七月.pdf (last visited July 7, 2020).
- ⁹³ Ming-hsien Tsai (蔡明憲), “CWI Tai-pei-hsiao-tsu Wei-yu-tai-jen-hsin-chu-tao-kao 15-nien,” *Chi-tu-chiao-lun-tan-pao* (「CWI 台北小組 為猶太人信主禱告 15 年」『基督教論壇報』), November 26, 2013, <https://www.ct.org.tw/1240497> (last visited July 7, 2020).
- ⁹⁴ Chi-huei Huang, *op cit.*, 46.
- ⁹⁵ Chin-ni Chen (陳衿妮), “Chu-chin-chung-te-pu-jen Chuo-chih-an-mu-shih-an-hsi-chu-huai,” *Chi-tu-chiao-chin-jih-pao* (「主盡忠的僕人 卓枝安牧師安息主懷」基督教今日報), May 8, 2017, <https://cdn-news.org/news/11135> (last visited July 21, 2020).
- ⁹⁶ Sian-chin Iap (葉先秦), “Tang-hao-chiao-hsiang-chi-shih, Ching-hsiang-hsiang-shei-shih-ni-te-ti-hsiung-ne?,” *Hsin-shih-che*, (「當號角響起時，請想想誰是你的弟兄呢？」『新使者』) 168, 2019, 32-38.
- ⁹⁷ モリ、カイネイ「『華人系プロテスタント教会』研究の手掛り：『世界華人福音運動』を通して」、『アジア・キリスト教・多元性』第10号、2012年、19-36頁、32頁。
- ⁹⁸ 2017年にLCJE日本支部主催に東アジア・ユダヤ人伝道カンファレンスのプログラム224で活動内容について報告している。
- ⁹⁹ Stepping Stones Tuttiは2017年にLCJE日本支部主催の東アジア・ユダヤ人伝道カンファレンスのプログラム315で活動内容について報告している。CPMの活動Shalom Hong Kongについては、Syun-man-si-gung-caa-wui Hoeng-gong-fan-wui (選民事工差會 香港分會), *10-zhou-nian-ji-nian-te-kan 2007-2017: you-ci-zhi-zhong* (『10週年紀念特刊 2007-2017:猶此至終』), 8, を見よ。
- ¹⁰⁰ Hsüeh-hsin Chou (周學信), “Tai-wan-chiao-hui-yu-chi-tu-hsi-an-chu-i, *Hua-shen-yuan-hsun, Chung-hua-fu-yin-shen-hsueh-yuan*,” (「台灣教會與基督錫安主義」『華神院訊』中華福音神學院), September 2019, <https://wp.ces.org.tw/> 【華神院訊】2019年9月/ (last visited July 7, 2020).
- ¹⁰¹ 藤野陽平「台湾キリスト教の歴史的展開：プロテスタント教会を中心に」、『哲学』第119巻、2010年、295-336頁、325頁。
- ¹⁰² Zhao-hui-tong-xun (召会通讯), “I-se-lieh-kai-chan-hsi-lieh-pao-tao: I-se-lieh-kai-chan-kai-kuang” (「以色列開展系列報導-以色列開展概況」), March 1, 2015, <https://churchnews.info/2015/03/01/以色列開展系列報導-以色列開展概況/> (last visited July 21, 2020).
- ¹⁰³ Kuo-tu-fu-hsing-pao (國度復興報), “Tai-pei-ling-liang-tang 65-chou-nien-tang-ching’ Pu-chih-kuan-huai-chi-tseng, Hsuan-chiao-chih-tang Hai-yao-chuan-hua-chih-chang” (「《台北靈糧堂 65週年堂慶》不只關懷基層、宣教植堂 還要轉化職場」), September 21, 2019, <https://krtnews.tw/chinese-church/local/article/21042.html> (last visited July 22, 2020).
- ¹⁰⁴ David Aikman, *op cit.*, 201-202.
- ¹⁰⁵ Rong-yao-shi-gong (榮耀事工), *Rong-yao-shi-gong* (『榮耀事工』), 2015, 1; Rong-yao-shi-

- gong (榮耀事工), *Rong-yao-shi-gong* (『榮耀事工』), 2013, 5. *Kuo-tu-fu-hsing-pao* (『國度復興報』) も、米保守政権のイスラエル政策を支持する記事を多数掲載している。
- ¹⁰⁶ 本文は 2007 年 5 月 19 日と 22 日の *Chi-tu-chiao-lun-tan-pao* (『基督教論壇報』) に掲載されている。Hsien-chang Wu (吳獻章), “Chiao-hui-tui yu-tai-shih-kung-te-fan-ssu” (『教會對猶太事工的反思』), Shih-chieh-hua-fu-chung-hsin (世界華福中心), http://www.cccowe.org/content.php?id=others_research_churchjewish (last visited July 7, 2020).
- ¹⁰⁷ Sian-chin Iap (葉先秦), “Tai-wan-wu-hsun-chieh / ling-en-yun-tung-hsien-kuang-te-shen-hsueh-fan-ssu,” *Tai-wan-shen-hsueh-lun-kan* (『台灣五旬節／靈恩運動 現況的神學反思』『台灣神學論刊』) 34, 2012, 87-105, 101.
- ¹⁰⁸ Tobias Brandner, *op cit.*, 325-326.
- ¹⁰⁹ Hugo Chan (陳世強), “Chung-kuo-meng, Hsin-ssu-lu-yu-hsiang-kang-te-hsin-ssu-lu,” Hsiang-kang-kuo-chi-chuan-pei-fu-yin-shang-jen-tuan-chi (『中國夢、新絲路與香港的新思路』香港國際全備福音商人團契), December 5, 2016, <https://fgb.com.hk/中國夢、新絲路與香港的新思路/> (last visited July 7, 2020).
- ¹¹⁰ Andrew Ho (何寶生), “Cheng-fu ‘shih-wu,’ kang-cheng ‘shih-kung,’ na-chiao-hui-ne? [Kuo-tu-chiao-tu] chuan-lan,” *Kuo-tu-fu-hsing-pao (Hsiang-kang)* (『政府『失誤』, 抗爭『失控』, 那教會呢? - 【國度角度】專欄』『國度復興報 (香港)』), September 8, 2019, <https://www.krt.com.hk/post/19451/> (last visited July 7, 2020).
- ¹¹¹ Men-tu-mei-ti (門徒媒體), “Chin-chung-ling-en-pai-jung-yao-shih-kung-tsung-kan-shih 8.18 chien-hsi-chiao-mu-chun-tsu-fa-pu-chia-hsiao-hsi Pei-pi-yao-yen-huo-chung (Yu-tu),” *Men-tu-mei-ti* (『親中靈恩派榮耀事工總幹事 8.18 前夕教牧群組發佈假消息 被批妖言惑眾 (有圖)』『門徒媒體』), August 19, 2019, <https://apostlesmedia.com/20190819/19220> (last visited July 7, 2020).
- ¹¹² 藤野陽平、前掲書、325 頁。
- ¹¹³ Chiao-se-fen (喬瑟芬), “Tung-yuan-li-ching-jen-te-tai-wan-fan-tung-chiao-hui_-yu-chung-mei-te-chien-ssu-wan-lu-kuan-hsi” (『動員力驚人的台灣反同教會, 與中美的千絲萬縷關係』), Inition Media, November 30, 2018, <https://theinitium.com/article/20181130-opinion-taiwan-referendum-marriage-equality-us-china-factor/> (last visited July 21, 2020).
- ¹¹⁴ 同上。Taipei Bread of Life Christian Church や Tabernacle of David は同性愛に反対している。また、香港の Kingdom Ministries や Rong-yao-shi-gong も、同性愛反対の運動を展開している。
- ¹¹⁵ 役重善洋『近代日本の植民地主義とジェンタイル・シオニズム——内村鑑三・矢内原忠雄・中田重治におけるナショナリズムと世界認識』インパクト出版会、2018 年。デイヴィッド・グッドマン、宮澤正典『ユダヤ人陰謀説——日本の中の反ユダヤと親ユダヤ』講談社、1999 年、85-103 頁。無教会派の伝道者であった藤井武は 1918 年に『聖書の預言とユダヤ人の使命』という説教をし、1929 年に『聖書より見たる日本』を出版している。
- ¹¹⁶ 神田健次「開かれた国際都市としてのミナト神戸」、神戸市編『神戸の歴史：神戸開港 150 年記念』第 26 号、神戸市 (文書館)、2017 年、9 頁。中日新聞社会部編『自由への

-
- 逃走——杉原ビザとユダヤ人』東京新聞出版局、1995年、84-86頁。
- 117 マーク・R・マリNZ『メイド・イン・ジャパンのキリスト教』高崎恵訳、トランスビュー、2005年、167頁。
- 118 同上。
- 119 日本・イスラエル親善協会の前会長（神藤燿）は原始福音・キリストの幕屋幹部だった。その他にも、同協会には様々な親イスラエルの教会関係者が参加している。パレスチナ情報センター「イスラエル支援議員リスト」2014年7月（最終閲覧日：2020年7月8日）<http://palestine-heiwa.org/choice/g-list.html>
- 120 京都市右京区の本部施設にゲストハウスを併設している。聖イエス会「Contact Us」Seiesukai（最終閲覧日：2020年7月8日）<http://seiesukai.org/contact.html>
- 121 マーク・R・マリNZ、前掲書、154頁。
- 122 基督兄弟団『ユダヤ民族の回復』いのちのことば社、1972年、序文。
- 123 川津旭『イスラエルを奮起させるために』ライフストーリー企画、2018年、88、97頁。
- 124 2017年11月にLCJE日本支部によって開催された東アジア・ユダヤ人伝道カンファレンスのプログラム232で活動内容について報告している。
- 125 JMFによって発行されていたニュースレターに活動内容が紹介されている。
- 126 内山憲司『主を伴走者にお迎えして主の証人となる』いのちの木メシアニック集会、2017年、19頁。
- 127 宮本純子『ニュースレター』29（6・7月号）、エターナル・ラブ・イスラエル、2000年、4-7頁。
- 128 菩提寺万里は1991年に筑波大学大学院に修士論文『現代イスラエルにおけるユダヤ人伝道の是非に関する議論の分析——神学的問題を中心に』を提出しており、ユダヤ人伝道に関する研究の日本での先駆者の一人と言える。
- 129 中川健一は日本での宣教団体ハーベスト・タイム・ミニストリーズの代表者であるが、旧ホーリネス系の教会で救われたという。
- 130 旧ホーリネス系の教会に属していた高田篤美が代表となった。
- 131 エベネゼル緊急基金『ニュースレター』2001年4月15日（最終閲覧日：2020年7月9日）http://www.ebenezerjapan.org/report/monthly/news_letter-2001.htm 岡田と旧ホーリネスとの直接的関係は確認できていないが、同団体の支援者の中には旧ホーリネスの流れをくむ人々もいる。
- 132 石川洋一『ユダヤ人はなぜ選民なのか』いのちのことば社、2007年、260-318頁。
- 133 シオンとの架け橋「シオンとの架け橋とは」（最終閲覧日：2020年7月8日）<https://www.zion-jpn.or.jp>
- 134 クリスマン新聞編『クリスマン情報ブック2018』いのちのことば社、931頁。なお、シオンの喜びのホームページはすでに削除されている。
- 135 ティクーン・ジャパン・パートナーシップ「当サイトについて」（最終閲覧日：2020年7月8日）<https://tikkunjppartner.wixsite.com/tikkun-japan/blank>
- 136 シオンとの架け橋『News From Zion』2006年12月号、12頁。

-
- ¹³⁷ LCJE 日本支部『LCJE NEWS』2019年3月号、4頁。
- ¹³⁸ オメガ・ジャパン「団体概要」（最終閲覧日：2020年7月8日）<https://www.omega.or.jp>
- ¹³⁹ シオンとの架け橋『News From Zion』2015夏号、1頁。
- ¹⁴⁰ マーク・R・マリンス、前掲書、74、144、160頁。
- ¹⁴¹ エターナル・ラブ・イスラエル「エターナル・ラブ・イスラエルとは」（最終閲覧日：2020年7月8日）<http://eli.holy.jp/information/>
- ¹⁴² JJHOP - Jerusalem Japan House of Prayer「概要」YouTube（最終閲覧日：2020年7月8日）<https://www.youtube.com/channel/UCyJnBAIfL1b9Tir6Lu1K5Q/about>
- ¹⁴³ ユダヤ人伝道を行う団体への献金の取次は、シオンとの架け橋、ティクーン・ジャパン・パートナーシップ、エンド・タイム・ミニストリーズなどが行なっている。
- ¹⁴⁴ 川津旭、前掲書、97-118頁。
- ¹⁴⁵ パレスチナ情報センター「イスラエル支援議員リスト」2014年7月7日（最終閲覧日：2020年7月8日）<http://palestine-heiwa.org/choice/g-list.html>
- ¹⁴⁶ Caldarola Carlo, *Christianity: the Japanese Way* (Brill, 1979), 207.
- ¹⁴⁷ 小熊英二・上野陽子『〈癒し〉のナショナリズム——草の根保守運動の実証研究』慶應義塾大学出版会、2003年、94-99頁。
- ¹⁴⁸ 2012年4月 San Remo エルサレムの平和の祭典 1920年に列強が旧オスマン帝国の領土を分割した際、聖地をユダヤ人に与えることが明記され、日本がそれに加わったことを記念する集会。
- ¹⁴⁹ 村山盛忠「キリスト教シオニズムの構造：日本人にとってのイスラエル」広河隆一、パレスチナ・ユダヤ人問題研究会編『ユダヤ人とは何か——「ユダヤ人」I』三友社出版、1985年、265-281頁。